

# 令和元年度 「森林保護員による保全活動(後期)」がスタート

～ 大分森林管理署管内5名 大分西部森林管理署管内4名 両署長から辞令交付 ～

令和元年9月19日、大分県九重町の牧の戸峠(標高約1,300m)において、令和元年度後期(9月19日～11月29日)森林保護員による保全活動の出発式を行いました。

はじめに、坂本大分森林管理署長から5名、益田大分西部森林管理署長から4名の森林保護員に辞令が交付され、秋の紅葉シーズンを多くの登山者に安全に楽しんでいただくために保全活動を実施します。この保全活動の内容は、登山マナーの啓発、標識、登山道施設の状況把握と簡易な補修などを実施し、森林保護員は、11月末までの約2か月間(土曜日、日曜日)、久住山、大船山などの標高1,700mを超えるくじゅう山地域の国有林を対象として活動することになります。

つづいて、両森林管理署を代表して、益田大分西部森林管理署長から「登山マナーを守って自然とふれあっていただくことが重要。森林保護員の皆様も、気象の変化や足下に注意して安全に活動を。来年8月には山の日記念全国大会が開催されると聞いている。パトロールを通じて山の状況を把握しながら、来年には多くの方をお迎えしたい。」と挨拶を述べました。

この日、任命を受けた森林保護員の皆さんは出発式を終え、早速、初秋のくじゅうの自然を楽しみに訪れた登山者にチラシを配布し、登山マナーアップの協力を呼びかけました。

これから、くじゅう連山は一日一日鮮やかな赤や黄色に染まり、訪れる登山者を楽しませてくれます。  
この大自然を満喫していただくために、この保全活動をと通じて一人一人が満足いただけるよう取り組みます。



益田 大分西部森林管理署長(中央)から辞令交付



坂本 大分森林管理署長から辞令交付



黒岩山 大分西部署管内  
平成30年10月19日 撮影

【 大分県 玖珠郡 九重町 牧ノ戸峠 令和元年9月19日 】



益田 大分西部森林管理署長 あいさつ（両森林管理署代表）



保全活動（後期） 出発式 大分署・大分西部署合同



保全活動へ出発前に安全ミーティング（大分署）



保全活動（後期） 出発式 大分署・大分西部署合同